

とうきょう すくわくプログラム活動報告書〈令和7年度〉

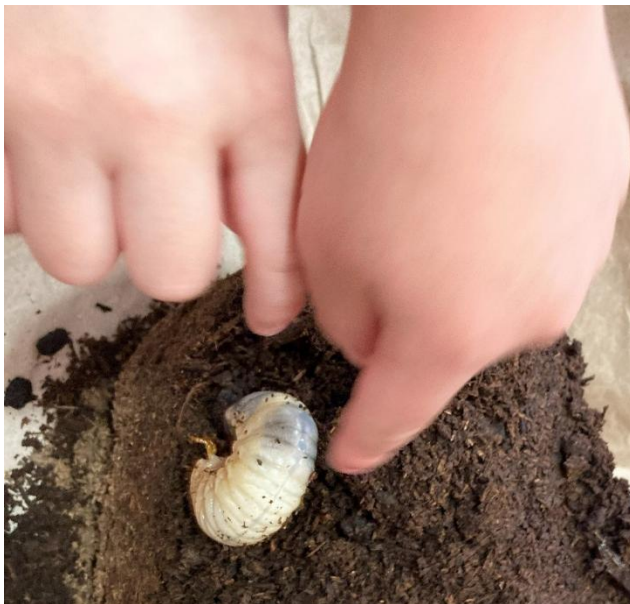
法人名	社会福祉法人崇仁会
施設名	代沢みこころ保育園
所在	世田谷区代沢2-27-1
クラス	全クラス

1. 活動のテーマ

生き物を通して自然に触れ、命の大切さを感じる

代沢みこころ保育園には事務所入り口脇に生き物コーナーがあり、メダカ、ドジョウ、ザリガニ、カブトムシの幼虫などを飼っています。皆、登降園時、散歩からの帰りなどに立ち寄って様子を見たり、幼児クラスを中心にお世話をしています。

今回はカブトムシの幼虫の土替えの様子を紹介します。



カブトムシの幼虫を「あかちゃんのカブトムシ」と呼んでかわいがっている子ども達。土替えでは新しい土をいれたケースに幼虫を戻すことを楽しみにしています。土替えのたびに大きくなっている幼虫の姿に「うわぁ」と感嘆の声をあげたあとはここぞとばかりじっくり観察。日頃は土の中に隠れているため気づかない幼虫の姿に「どっちがかお?」「くろいところはなに?」等々様々な気づきを口にしています。



図鑑やタブレットを使って疑問を解決したり、情報収集しています。カブトムシの幼虫は土を食べる事、土の中にある小さな黒いつぶが幼虫の糞であることを知ると、興味津々で土を触って糞を見つけだしていました。「匂いは？」と保育者が尋ねるとくんくんとかいで「くさくない」と話していました。幼児クラスになると土は腐葉土でなくてはならないことなどを調べ、学びを深めています。



カブトムシの幼虫のお世話をするようになり、幼虫への愛着が湧いている子ども達、「かぶとむしの赤ちゃんどうしてるかな」など毎日話題にしています。カブトムシの幼虫の飼育を通じて、生き物や自然への興味とともに、愛着といった感情から生き物への慈しみや命を大事に思う心が育っていく過程を大切にしていきたいと思います。